



2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月4日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 仁一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理担当 (氏名) 伊藤 隆一 TEL 042-441-0711
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日
配当支払開始予定日 2024年8月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	95,351	5.7	3,239	75.2	2,968	84.4	1,655	181.1
2023年11月期第2四半期	90,201	2.4	1,848	△0.6	1,609	△3.4	589	△19.5

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 2,347百万円（-％） 2023年11月期第2四半期 △103百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	66.62	—
2023年11月期第2四半期	23.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	122,306	53,459	34.2
2023年11月期	118,874	51,455	33.8

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 41,767百万円 2023年11月期 40,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2024年11月期	—	11.50	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	4.0	5,400	34.0	4,500	29.7	2,200	—	88.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期 2 Q	25,355,800株	2023年11月期	25,355,800株
② 期末自己株式数	2024年11月期 2 Q	499,206株	2023年11月期	499,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期 2 Q	24,856,644株	2023年11月期 2 Q	24,856,684株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年7月5日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍が一段落し、経済社会活動の正常化が進むなか、景気は緩やかに回復したものの、物価高や円安の進行など、先行きは不透明な状況にて推移しました。

食品物流業界におきましては、食品の値上がりにより、消費者の節約志向が強まったものの、新型コロナウイルス禍より人流が回復するなか、荷動きは緩やかに回復しました。当社においては、前年の鳥インフルエンザ感染拡大による、鶏卵供給不足の影響から回復の動きが見られました。一方、人手不足のなか、物流の「2024年問題」を迎えるなど、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「徹底力で体質強化」をテーマに掲げ、「機能の強化」「環境変化への対応」「海外展開の基盤拡充」「新領域への参入」の4つを基本方針とした第7次中期経営計画（2022年11月期から2024年11月期）を推進しております。既存資源の最大活用による利益率の向上、事業環境の変化に対応した社会的価値の創出、海外における事業の安定化と、更なる展開に向けた基盤強化を進めております。また、食品の温度管理技術を活かした高付加価値物流を提供できる体制構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は953億51百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は32億39百万円（同75.2%増）、経常利益は29億68百万円（同84.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億55百万円（同181.1%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業の営業収益は、前年の鶏卵供給不足に対する回復の動きや、適正料金施策などにより、増収となりました。利益面は、運送・倉庫のコストアップなどがあったものの、増収による利益増加に加え、前年上期の電気代高騰に対する政府の緩和措置や、前期の減損損失計上にもなる減価償却費の減少などにより、増益となりました。

この結果、営業収益は646億45百万円（前年同期比4.2%増）となり、営業利益は13億75百万円（同221.0%増）となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業の営業収益は、コンビニエンスストアに関する新規・既存取引の拡大や、適正料金施策などにより、増収となりました。利益面は、増収による利益増加などがあったものの、労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は196億26百万円（前年同期比2.6%増）となり、営業利益は6億47百万円（同13.2%減）となりました。

(関連事業)

関連事業の営業収益は、インドネシアにおける新規・既存取引の拡大などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は110億78百万円（前年同期比22.9%増）となり、営業利益は11億97百万円（同79.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億31百万円増加し、1,223億6百万円となりました。資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加5億3百万円、受取手形及び営業未収入金の増加5億65百万円および有形固定資産の増加7億90百万円ならびに投資有価証券の増加14億10百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億27百万円増加し、688億46百万円となりました。負債の増加の主な要因は、長期借入金の減少3億43百万円はありましたが、短期借入金の増加11億93百万円、支払手形及び営業未払金の増加3億88百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ20億4百万円増加し、534億59百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、為替換算調整勘定の減少82百万円はありましたが、その他有価証券評価差額金の増加2億62百万円、利益剰余金の増加13億70百万円および非支配株主持分の増加4億29百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円増加し43億61百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、49億75百万円（前年同期は40億13百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加、法人税等の支払額の発生はありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、44億43百万円（前年同期は34億9百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、35百万円（前年同期は15億24百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入、短期借入金の純増減額の増加はありましたが、長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月10日に公表しました、2024年11月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,857	4,361
受取手形及び営業未収入金	21,643	22,209
商品	63	79
貯蔵品	233	248
その他	2,427	2,685
貸倒引当金	△177	△196
流動資産合計	28,047	29,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,696	16,223
機械装置及び運搬具（純額）	16,745	17,317
工具、器具及び備品（純額）	3,070	3,887
土地	30,142	29,729
リース資産（純額）	3,377	3,512
建設仮勘定	4,144	3,296
有形固定資産合計	73,176	73,966
無形固定資産		
のれん	1,853	1,702
顧客関連資産	2,232	2,144
その他	1,666	1,602
無形固定資産合計	5,752	5,450
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710	4,120
敷金及び保証金	4,305	4,295
その他	4,935	5,139
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	11,898	13,501
固定資産合計	90,827	92,918
資産合計	118,874	122,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,266	14,654
短期借入金	12,047	13,241
未払法人税等	688	888
賞与引当金	855	852
役員賞与引当金	69	40
その他	9,662	9,427
流動負債合計	37,589	39,105
固定負債		
長期借入金	24,292	23,949
長期割賦未払金	203	292
退職給付に係る負債	334	334
資産除去債務	696	698
その他	4,302	4,466
固定負債合計	29,829	29,741
負債合計	67,419	68,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,198	4,198
利益剰余金	29,362	30,732
自己株式	△361	△361
株主資本合計	37,262	38,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818	1,080
為替換算調整勘定	1,915	1,833
退職給付に係る調整累計額	196	221
その他の包括利益累計額合計	2,930	3,135
非支配株主持分	11,262	11,691
純資産合計	51,455	53,459
負債純資産合計	118,874	122,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業収益	90,201	95,351
営業原価	85,188	88,951
営業総利益	5,012	6,400
販売費及び一般管理費	3,163	3,160
営業利益	1,848	3,239
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	7	9
受取賃貸料	31	29
持分法による投資利益	0	—
補助金収入	34	32
養老保険解約差益	19	17
受取補償金	—	123
その他	105	68
営業外収益合計	212	285
営業外費用		
支払利息	392	502
貸与設備諸費用	25	26
持分法による投資損失	—	0
その他	32	27
営業外費用合計	451	556
経常利益	1,609	2,968
特別利益		
固定資産売却益	32	28
投資有価証券売却益	0	—
持分変動利益	—	98
特別利益合計	32	127
特別損失		
固定資産除売却損	81	60
投資有価証券評価損	—	8
リース解約損	1	6
特別損失合計	83	75
税金等調整前四半期純利益	1,558	3,020
法人税、住民税及び事業税	598	862
法人税等調整額	117	△47
法人税等合計	715	814
四半期純利益	843	2,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	254	549
親会社株主に帰属する四半期純利益	589	1,655

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	843	2,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	264
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△968	△147
退職給付に係る調整額	12	25
その他の包括利益合計	△947	142
四半期包括利益	△103	2,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	1,860
非支配株主に係る四半期包括利益	△141	487

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,558	3,020
減価償却費	3,275	3,418
のれん償却額	122	129
顧客関連資産償却額	60	64
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	△32
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△29
受取利息及び受取配当金	△21	△14
支払利息	392	502
持分法による投資損益 (△は益)	△0	0
持分変動損益 (△は益)	—	△98
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	8
有形固定資産売却損益 (△は益)	△20	△11
有形固定資産除却損	69	43
売上債権の増減額 (△は増加)	590	△586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10	△32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△770	321
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△4
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18	△45
その他	△534	△552
小計	4,670	6,121
利息及び配当金の受取額	26	19
利息の支払額	△389	△503
法人税等の支払額	△462	△662
法人税等の還付額	168	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,013	4,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,798	△4,331
有形固定資産の売却による収入	40	45
無形固定資産の取得による支出	△651	△151
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△13	△18
貸付金の回収による収入	27	29
その他	△7	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,409	△4,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,534	1,067
長期借入れによる収入	4,600	3,592
長期借入金の返済による支出	△2,491	△3,709
割賦債務及びリース債務の返済による支出	△678	△641
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△286	△285
非支配株主への配当金の支払額	△133	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,524	△35
現金及び現金同等物に係る換算差額	△147	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,067	503
現金及び現金同等物の期首残高	4,986	3,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,918	4,361

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2 四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	62,059	19,124	8,943	90,127	—	90,127
その他の収益 (注) 3	—	—	74	74	—	74
外部顧客への営業収益	62,059	19,124	9,017	90,201	—	90,201
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	519	608	2,625	3,753	△3,753	—
計	62,579	19,732	11,643	93,954	△3,753	90,201
セグメント利益	428	746	668	1,843	4	1,848

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

II 当第2 四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	64,645	19,626	11,001	95,274	—	95,274
その他の収益 (注) 3	—	—	76	76	—	76
外部顧客への営業収益	64,645	19,626	11,078	95,351	—	95,351
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	454	607	2,690	3,752	△3,752	—
計	65,100	20,234	13,768	99,103	△3,752	95,351
セグメント利益	1,375	647	1,197	3,221	18	3,239

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。